

外務省告示第六號

本月十七日韓國駐劄帝國特命全權公使及同國
外務大臣ハ左記協約ニ調印セリ

明治二十六年十二月二十日 外務大臣 伯耆守 桂 太郎

日本國政府及韓國政府ハ兩帝國ヲ結合スル利益
共通ノ主義ヲ鞏固ナラシメムコトヲ欲シ韓國ノ富強
ノ實ヲ認ムル時ニ至ル迄此ノ目的ヲ以テ左ノ條款
ヲ約定セリ

第一條 日本國政府ハ在東京外務省ニ由リ今後
韓國ノ外國ニ對スル關係及軍事ハ以テ指揮
スルヲ日本ニ委シ外交代表者及領事ハ外國

ニ於ケル韓國ノ臣民及利益ヲ保護スルニ

第二條 日本國政府ハ韓國ト他國トノ間ニ現存
スル條約ノ實行ヲ全フスルノ任ニ當リ韓國政
府ハ今後日本國政府ノ仲介ニ由ラスシテ
國際的性質ヲ有スル何等ノ條約若ハ約束
ヲナササルコトヲ約ス

第三條 日本國政府ハ其ノ代表者トシテ韓國
皇帝陛下ノ闕下ニ一名ノ統監(レジデント)ヲ
置ク統監ハ專ラ外交ニ関スル事項ヲ管理
スルル京城ニ駐在シ親シク韓國皇帝陛下
ニ内謁スル權利ヲ有ス日本國政府ハ又韓國

ノ各開港場及其ノ他日本國政府ノ必要ト
認ムル地ニ理事官(レジデント)ヲ置クノ權利ヲ
有ス理事官ハ統監ノ指揮ノ下ニ從來在韓
國日本領事ニ屬シタル一切ノ殘權ヲ執行
シ茲本條約ノ條款ヲ完全ニ實行スルル必
要トスヘキ一切ノ事ヲ掌理スルニ

第四條 日本國ト韓國トノ間ニ現存スル條約及
約束ハ本條約ノ條款ニ抵觸セサル限悉ク
其ノ効力ヲ繼續スルモノトス

第五條 日本國政府ハ韓王自皇室ノ安寧ト
尊嚴ヲ維持スルコトヲ保証ス

右酒標トシテ下名ニ各本必認付ルル者
ノ者任リ受ケテ本協約ニ記名調印スルモ
ナリ

明治廿八年十二月七日 特命全權公使 林權助
光武九年十月十七日 外部大臣 朴齊純